

令和6年 第4回 三原市議会定例会 一般質問

発言 順位	通 告 者	発 言 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	角 広 寛	1 太陽光発電設備設置条例について (1) 把握しているトラブルの件数は何件か (2) 対策は講じているか (3) トラブルを防ぐために条例制定が必要ではないか 2 本郷産業廃棄物最終処分場に係る本市の対応について (1) 本市が水質検査結果を隠蔽し、独自の水質検査を実施せず、汚染水を避けるためのパイプの設置を拒み、広島県に産廃処分場の許可取消しや適切な抜き打ち検査を要望しないのは、三原市環境基本条例に違反しているのではないか (2) 本市が許可した林地開発は、大雨の度に法面崩壊や水路の越水を繰り返して災害危険があり、明らかな安全対策を求める森林法に違反しているのではないか	市 長 市 長
2	岡 富 雄	1 本市の農業施策（農地の維持等）について (1) 人口減少、高齢化に伴う集落法人再編成や農業従事者の雇用対策について (2) 農地の集約により耕作放棄地となる可能性の高い農地の活用の継続と集落存続のための方策について 2 理科教育設備（実験備品）の整備について (1) 理科教育設備不足で実験ができなかったが、高校入試等に影響がないようにするため、どのような工夫をして授業をされたのか (2) 各学校で現有率に格差があるが、今後の整備に対する考えについて	市 長 教 育 長
3	寺 田 元 子	1 本市における自衛隊に対する考え方について (1) 自衛隊への募集対象者情報の「提供」に係る対応はどうかについて (2) イベントへの自衛隊の参加は中止をについて (3) こどもおしごとチャレンジにおいて自衛隊に係る講座は今後も実施しないことについて 2 大地震に備えた防災対策の強化について (1) 能登半島地震を教訓に、本市の防災施策の何をどう見直したのかについて (2) 木造住宅耐震診断の無料化と耐震改修補助金のさらなる引上げについて	市 長 市 長

[illegible]

発言 順位	通 告 者	発 言 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
7	児 玉 敬 三	1 高齢者の社会参画の推進について (1) 軟骨伝導イヤホンの導入による窓口環境整備について 2 終活支援について (1) 令和5年第7回定例会における提案後の進捗状況について	関係部長 関係部長
8	杉 谷 辰 次	1 中山間地域における地域公共交通について (1) 高齢者などの交通弱者が、自由に病院や買物に行くことのできる地域公共交通対策と移動区域の見直しに係る考えはどうか (2) 状況に応じてタクシー助成券事業に取り組むことはできないのか (3) スーパー閉店に伴う買物弱者への対策は現在どのような進捗状況なのか	市 長
9	中 迫 勇 三	1 障害福祉サービス・地域生活支援拠点等事業について (1) 地域生活支援システム緊急時受入等事業の登録状況について (2) 緊急時を含めた24時間相談対応について (3) 相談支援員への相談内容について (4) 緊急的な短期入所事業所の入所状況について 2 文化芸術の継承、発展に係る本市の取組について (1) 一般財団法人みはら文化芸術財団設立の経緯や目的等について (2) 三原市文化協会、みはら文化芸術財団の主な事業内容について (3) みはら文化芸術財団の収益状況について (4) 本市の文化芸術の継承と発展に係る今後の取組について	市 長 市 長
10	徳 重 政 時	1 ゼロカーボンシティ施策の推進について (1) 投入金額、二酸化炭素削減量など各施策別の実績について (2) 太陽光発電を中心とした再エネ施策について 2 デジタル化の実績と現状及び今後について (1) GIGAスクール構想に基づく施策を除く各施策の実績と現状について (2) LINEの安全性について (3) 回覧板などのデジタル化について	市 長 市 長

発言 順位	通 告 者	発 言 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
		(4) 半年後に迫った保険証の廃止によるオンライン資格確認について	
11	正 田 洋 一	1 人口獲得施策と企業誘致について (1) 本市の強みをどう見せているのか (いくのか) (2) どのような産業特性の企業の誘致を目指すか (3) 今後の企業誘致の進め方について 2 デジタル化の取組について (1) 道路・河川の異常通報システムの運用状況について (2) 機能向上に対する利用啓発について	市 長 関係部長
12	分 野 達 見	1 中学生のクラブ活動やスポーツ環境の構築について (1) 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた検討状況は (2) モデル事業の成果と実践によって明確になった課題は (3) 令和7年度末となっている改革推進期間終了までの達成目標は 2 神明市のシンボルとなっている日本一の神明大だるまを本市の観光振興策として活用できないか (1) 観光の資源、ポイントとしての位置づけは (2) 年間を通しての活用策をどう考えるか 3 デジタル社会進展に伴う外来語やアルファベットによる略語の多用について (1) 公文書への記述や会議での発言は日本語を併用し、分かりやすくするべきではないか	関係部長 関係部長 関係部長